

事業案内

2020(令和2)年度事業報告
2021(令和3)年度事業計画



社会福祉法人
千葉いのちの電話

24時間年中無休
相談電話 043-227-3900

CONTENTS

ごあいさつ	1
千葉いのちの電話の理念	2
2020（令和2）年度事業報告	3
I. 相談事業報告	
(1) 電話相談事業	3
(2) 自死遺族支援事業 わかちあいの会「ひだまり」	8
(3) 対面相談事業	9
(4) インターネット相談事業	10
II. 養成と研修	11
III. 公開講演会・公開講座	11
IV. 活動報告	12
V. 他機関との連携	16
2020（令和2）年度 決算報告	17
2021（令和3）年度 事業計画基本方針	20
2021（令和3）年度 事業目標	20
千葉県いのちの電話協会	21
役員名簿	22
千葉いのちの電話役員名簿	
千葉県いのちの電話協会役員名簿	
研修専門家部会名簿	
ご支援のお願い	

ごあいさつ



社会福祉法人 千葉いのちの電話
理事長 友田 直人

コロナ禍で始まった2020（令和2）年度も幅広い県民の皆様のご支援を賜り、ここに千葉いのちの電話の事業報告並びに2021（令和3）年度の事業計画をご報告できますことを深く感謝申し上げます。

さて、全国の自殺者数は関係機関の努力もあり2009年の3.7万人のピークから2万人を下回る目前までにここ10年継続して減少して参りました。しかし、昨年度は21,081人と912人の増加に転じました。千葉県でも前年を上回る1,023人の方が亡くなられています。

千葉いのちの電話に寄せられる相談内容も、当初の未知のウイルスに対する不安や活動の自由が制限されることの精神的閉そく感から、年が変わるところから仕事や収入の不安定からくる経済的な苦悩と孤独へと広がりがつあるようです。

今回のような社会的な重圧は、特に社会的な弱者、若年者・女性・精神的疾患者等の強いストレスとなっているようです。背景には人の価値を効率で判断する、また非正規雇用で効率化を図る企業等、現代の社会構造が大きく影響しているのでしょう。

この様な中、相談員の健康を第一に決して無理はせず、消毒・換気・部屋定員の削減・使用時間制限など、考えられる感染予防対策を実施したうえで活動可能な相談員が補い合うことで何とか活動は概ね続けることができました。

一方で、各研修は4月より休止や延期を余儀なくされました。継続研修は9月より再開、32期養成研修は第Ⅲ課程以降を1年延期、新規相談員の募集は昨年度は中止の判断をしました。しかし、先の予測ができない状態での停滞を最小限にすべく、ほとんどの人が経験のなかったリモートによる委員会・研修会や動画配信を利用した公開講演会の実施など、相談員の積極的な逆境克服の努力が発揮されたのも大きな成果であります。

今後のワクチン接種の拡大やいろいろな行事の開催などがどのように影響するのか不明です。当面は今まで通り感染予防に十分注意しながら推移を見守るしかなく、終息に向けては決して楽観できません。失業者数の推移なども自殺予防にとっては大きな不安材料です。

ですが、私たちは変わらずさまざまな問題を抱え生きることの苦悩する人に寄り添い、相談に応じる基本理念を再確認し、活動を維持していくため、全力を尽くして参りたいと存じます。

引き続き千葉いのちの電話に対するさらなるご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

千葉いのちの電話の理念

千葉いのちの電話はかかわりを求め、なんとか対処しようと苦悩している人たちに「私たちがここにいるよ」と表明し、寄り添いかかわりを求められる存在でありたいと望んでいます。そのために傾聴を基本の姿勢として、時には自殺まで思うほどの精神的危機にある人に寄り添い、対等な人間としてかかわりを持ち支え合う相談活動をしています。また、使命の大きな柱である自殺予防のため、裾野の広い自殺予防活動を行います。

相談援助活動の4本の柱

電話相談

043-227-3900
24時間365日
年中無休

わかちあいの会
- 自死遺族支援 -

対面相談

- こころの相談室 -
予約専用電話
043-222-4331



インターネット
相談

◆ 千葉いのちの電話の歩み

- | | | | |
|-------------------------------|---------------------|-----------------------|--------------|
| ・ 設立準備委員会発足 | 1988年 1月 | ・ 千葉日報社会福祉賞受賞 | 2009年11月 |
| ・ 千葉いのちの電話開局 | 1989年10月 1日 | ・ 社会貢献者表彰 | 2010年10月 |
| ・ 千葉県いのちの電話協会発足 | 1990年10月20日 | ・ 「震災ダイヤル」参加 | 2011年 3月 |
| ・ 社会福祉法人設立認可 | 1993年12月28日 | | ~2013年 9月26日 |
| ・ 第22回いのちの電話相談員全国研修千葉大会 | | ・ 「ナビダイヤル」参加 | 2013年 3月 |
| ・ 第10回アジア太平洋地域電話カウンセリング国際会議開催 | 2001年 6月13日
~16日 | ・ 千葉県社会福祉賞受賞 | 2013年12月25日 |
| ・ 千葉市社会福祉功労表彰 | 2005年10月 | ・ 厚生労働大臣表彰 | 2014年 9月27日 |
| ・ 自死遺族支援「わかちあいの会ひだまり」を開始 | 2006年11月 | ・ 開局25周年記念式典 | 2014年10月 1日 |
| ・ 新会館（CIDビル）に移転 | 2007年 6月 1日 | ・ 千葉県いのちの電話協会25周年記念式典 | 2015年 9月30日 |
| ・ インターネット相談開始 | 2008年 7月 | ・ 開局30周年記念式典 | 2019年10月 1日 |
| ・ 対面相談開始 | 2009年 4月 | ・ コロナ禍対応「毎日フリーダイヤル」参加 | 2020年 6月 |

社会福祉法人 千葉いのちの電話 概況

(2021年4月1日現在)

【設 立】1989年10月 1日

【法人認可】1993年12月28日

【組 織】理事：9名 監事：2名 評議員：19名 後援会役員：15名 監事：1名

【認定者累計】1,182名 【実動相談員数】166名 【活動ボランティア数】24名

2020（令和2）年度事業報告

（2020年4月1日～2021年3月31日）

はじめに

福祉サービスの提供として精神的危機に直面し、援助と励ましを求めている人びとと、主に電話という手段で対話し、健全な社会人として生活することが出来るよう援助し、その他にこれに関連するサービスを提供し、もって社会福祉の増進に寄与することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

定款（目的）第1条

この一文は、千葉ののちの電話の活動の使命や理念を表わし、定款の第1条に掲げています。私たちはこの目的の実現のために市民運動のボランティア組織ではありませんが、責任ある組織として活動を継続して参りました。2020（令和2）年度の電話相談・自死遺族支援・対面相談・インターネット相談の4相談事業の活動の概要を中心に、ここにご報告させていただきます。

I 相談事業報告

(1) 電話相談事業

電話相談 2020年度（2020年4月～2021年3月）

自殺予防フリーダイヤル（毎月10日実施）コロナ毎日フリーダイヤル（6/20～）

2020年4月から翌年3月まで1年間の総受信数は10,767件、男性4,959件（46.1%）、女性5,808件（53.9%）で、全体の中で自殺傾向の見られるものは、1,461件（13.6%）でした。一日平均29.5件受信しています。

現在の受信の種類は、通常千葉ののちの電話、ナビダイヤル（登録センター共通番号10時～21時）、厚生労働省補助事業のフリーダイヤル（毎月10日8時～翌日8時）及び、毎日コロナフリーダイヤル（千葉は第2週を除く水16時～21時参加）の4種類です。

コロナ禍に明け暮れた1年間でした。多くのセンターが電話相談を中止した中で、千葉センターは社会情勢に応じて受信体制を変えながらも、概ね閉じることなく平均して毎月897件の相談を受信することができました。個々の事情により、電話担当が叶わない相談員も大勢いますが、来局可能な相談員が1年間電話相談を支えてきました。3月は、休務者を除く相談員155人のうち105人が相談電話を受信しました。現在のところ、深夜は10日のフリーダイヤル時の受信のみとなっています。

千葉ののちの電話では、原則、月1回の継続研修と月2回以上の電話担当をセットとして長い間続けて来ました。3密を避けるため、大勢が集まる継続研修は中止せざるをえず、9月から12月の4か月のみの研修期間でした。相談員へのケアの重

要性を感じました。

コロナに関しては、ダイヤモンド・プリンセス号での新型コロナ感染症が報道された昨年1月は、電話でコロナを話す相談者は0件でした。4月が853件中131件15.4%、5月が399件中75件18.8%と比率が高くなっています。失業・休業・倒産などによる生活困窮、生活不安を訴える相談者が月を追って増えていき、日頃から身体や精神の疾患を抱える相談者の感染不安、また陽性者が増えながらも政府がGOTOトラベルを推進していた頃には、日常の生活もままならない人達の外出できないストレスが語られるなど、社会情勢が電話に反映されて来ました。

1年間で、精神疾患があると予測される件数は10,767件中5,035件47%です。自殺未遂は男性174件、女性307件の計481件4%でした。自殺実行中にかけてきた人は、男性2人女性6人の計8人でした。

これまで抱えてきた悩みをコロナ禍がより深くしていますが、誰とも話す事がなく孤独・孤立を深め、心身共にバランスを崩しどこにもぶつけられない怒りを繋がった電話にぶつける人、最初から攻撃する人、男性では性的話も増えています。配偶者やパートナーからの女性への性暴力、子どもへの虐待が増大しているのも、憂慮されるところです。

◆ 電話相談事業概況 (2020年4月～2021年3月)

受信数			累計		
2020年4月～2021年3月 (365日)			1989年10月～2021年3月		
総受信件数	10,767件		総受信件数	681,776件	
一日平均	29.5件				
男	4,959件	46.1%	男	300,971件	44.1%
女	5,808件	53.9%	女	378,761件	55.6%
不明	0件	0%	不明	2,044件	0.3%

	総件数	男		女	
		件数	%	件数	%
通常	9,079	4,128	45.5	4,951	54.5
フリーダイヤル	657	372	56.6	285	43.4
*ナビダイヤル	482	190	39.4	292	60.6
*毎日フリーダイヤル	549	269	49	280	51
総計	10,767	4,959	46.1	5,808	53.9

*フリーダイヤル毎月10日8:00～11日8:00) *ナビダイヤル (10時～22時)

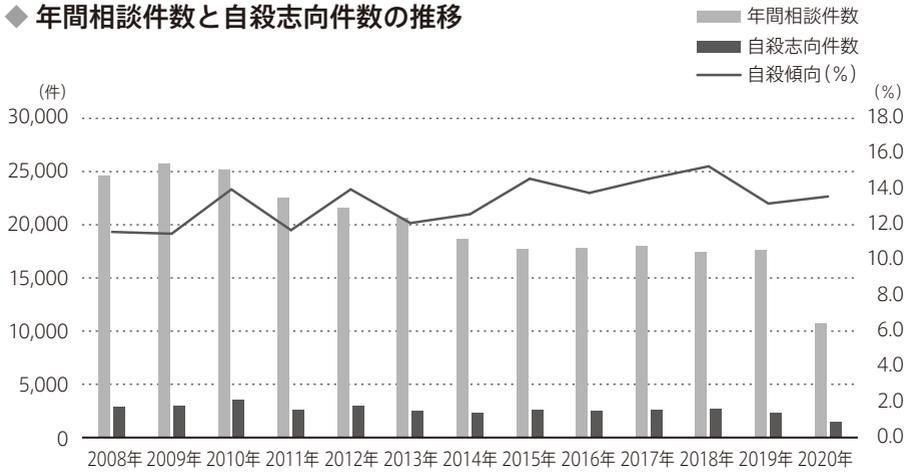
*毎日フリーダイヤル6月20日より開始、現在は毎水曜日16:00～21:00実施

自殺傾向 (通常・フリーダイヤル・ナビダイヤル・毎日フリーダイヤル)

	総受信数	念慮		危険		予告・通告		実行中	
		男	女	男	女	男	女	男	女
通常	1,027件 (70.3%)	387	553	25	34	11	9	2	6
フリーダイヤル	138件 (9.4%)	55	73	3	6	0	1	0	0
ナビダイヤル	111件 (7.6%)	38	71	1	1	0	0	0	0
毎日フリーダイヤル	185件 (12.7%)	78	95	4	6	1	1	0	0
総計	1,461件	558	792	33	47	12	11	2	6

総受信件数10,767件のうち自殺傾向は1,461件 (男605件・女856件) 総受信件数の13.6%

◆ 年間相談件数と自殺志向件数の推移



年度	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
年間相談件数	24,652	25,743	25,184	22,565	21,557	20,604	18,693	17,677	17,844	17,992	17,389	17,607	10,767
自殺志向件数	2,854	2,964	3,502	2,629	3,013	2,495	2,357	2,581	2,460	2,634	2,667	2,326	1,461
自殺傾向 (%)	11.6	11.5	14.0	11.7	14.0	12.1	12.6	14.6	13.8	14.6	15.3	13.2	13.6

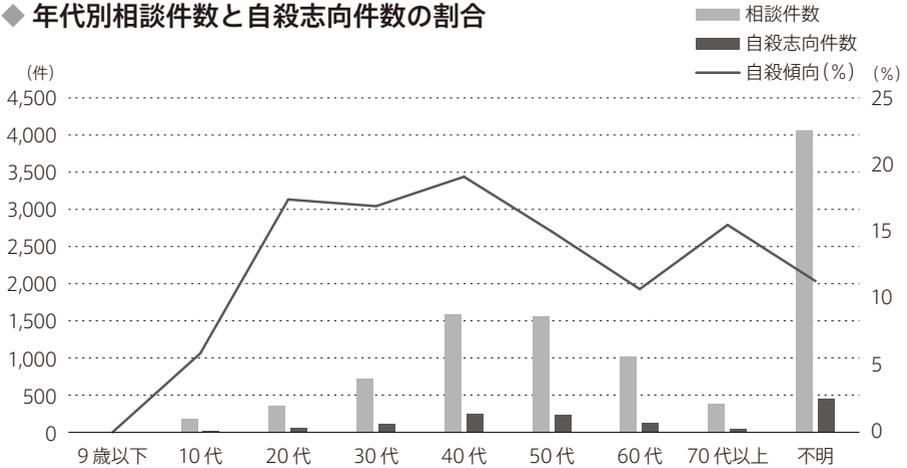
*2017年度は1～12月のデータ

◆ 相談内容別件数と自殺志向の割合



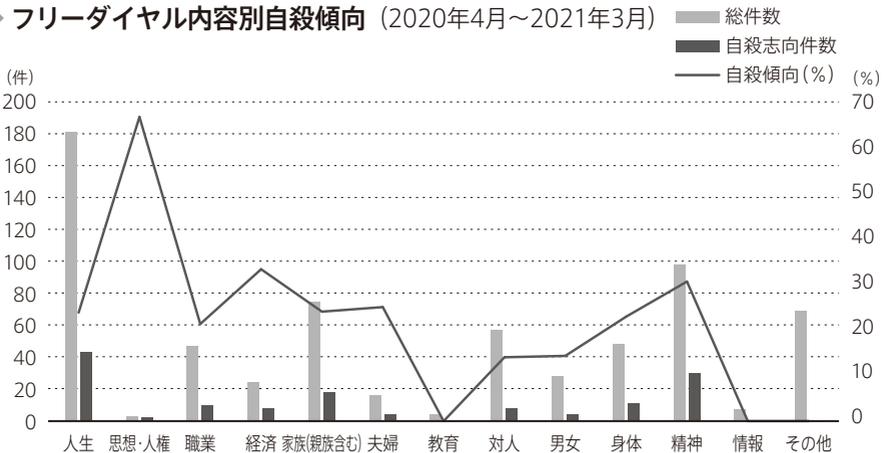
内容	人生	思想・人権	職業	経済	家族(親族含む)	夫婦	教育	対人	男女	身体	精神	情報	その他	合計
総件数	2,473	74	721	252	1,354	614	45	1,308	483	595	1,318	98	1,432	10,767
自殺志向件数	533	19	74	63	155	75	3	108	35	67	293	5	31	1,461
自殺傾向 (%)	21.6	25.7	10.3	25.0	11.4	12.2	6.7	8.3	7.2	11.3	22.2	5.1	2.2	13.6

◆ 年代別相談件数と自殺志向件数の割合



項目	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
相談件数	1	239	507	706	1,376	1,868	1,379	476	4,215	10,767
自殺志向件数	0	14	88	119	263	280	147	74	476	1,461
自殺傾向 (%)	0	5.9	17.4	16.9	19.1	15.0	10.7	15.5	11.3	13.6

◆ フリーダイヤル内容別自殺傾向 (2020年4月～2021年3月)



項目	人生	思想・人権	職業	経済	家族(親族含む)	夫婦	教育	対人	男女	身体	精神	情報	その他	合計
総件数	181	3	47	24	75	16	4	57	28	48	98	7	69	657
自殺志向件数	43	2	10	8	18	4	0	8	4	11	30	0	0	138
自殺傾向 (%)	23.8	66.7	21.3	33.3	24.0	25.0	0.0	14.0	14.3	22.9	30.6	0.0	0.0	21.0

◆ **精神疾患相談件数** (2010年4月～2021年3月)

	歴あり	疑いあり	治療中	不明	なし	合計
男	117	629	1,418	1,039	1,939	5,142
女	190	446	2,235	802	1,952	5,625
計	307	1,075	3,653	1,841	3,891	10,767
%	3	10	34	17	36	

*総計10,767件のうち 歴あり・疑い・治療中は5,035件で約47%

◆ **自殺未遂** (2020年4月～2021年3月)

	あり	なし	不明	合計
男	174	4,264	521	4,959
女	307	4,979	522	5,808
計	481	9,243	1,043	10,767
%	4	86	10	

◆ **コロナ関連の電話相談** (2020年4月～2021年3月)

2020年度のコロナ受信数は1,076件で総受信数10,767件に対して1割でした。
内容は主に4項目に分かれます

項目	件数	相談の概要
仕事関連	310件	失業・倒産・休業・自宅待機・生活困窮・生活不安・生活保護・早期退職
感染不安	319件	基礎疾患・持病・職場・通院先、老人ホームのクラスター・看護師・気分が落ち込む
外出不可	185件	家族の面会不可・法事・結婚式中止・友人に会えない・出産の手伝いに行けない
その他	262件	テレワークのストレス・受験不安・リモート授業の不満・家庭内トラブル増加・夫DV
合計	1,076件	

◆ **コロナに関する月別受信数**

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
総受信件数	853	399	698	792	846	904	1,188	1,154	1,229	969	835	900	10,767
コロナ関連	131	75	74	68	82	77	83	76	96	156	84	74	1,076
率(%)	15.4	18.8	10.6	8.6	9.7	8.5	7.0	6.6	7.8	16.1	10.1	8.2	10.0
男	62	28	33	26	29	40	38	38	46	77	39	35	491
女	69	47	41	42	53	37	45	38	50	79	45	39	585

◆ **コロナに関する年代別受信件数**

	コロナ関連	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明
年間件数	1,076	5	24	63	152	201	170	65	396

(2) 自死遺族支援事業 わかちあいの会「ひだまり」

例年とおり会場は「千葉きぼーる」「柏アミュゼ」「印旛健康福祉センター」3ヶ所を確保できましたが2020年春の終わるころからコロナ感染拡大防止による緊急事態宣言が発出、さらに2021年1月2度目となりその間開催中止を余儀なくされました。(4/5/6月、2021年1/2/3月) 他の開催された6ヶ月も人流の自粛規制のなか少ない参加者でした。しかしながら少人数で深くゆったりとしたグリーフサポートと、現状の閉塞感のなか行き場を無くした遺族の方々の拠り所となったというお言葉を頂きました。本年度の半分が開催中止となり、私達スタッフはそれと知らずに来訪された方々のために「いつでも待ってます」のメッセージを伝える為に中止の際はドアの前に立ちました。開催時には検温、手指の消毒、アクリル板の設置、サーキュレーターを持ち込み等を整え、いつもなら匿名参加でも良しですが感染拡大防止のために連絡先の情報をいただきました。次年度こそは安心安全の場、必ず行ける場を提供できますことを願うばかりです。

- ◆ **スタッフ研修** 7月 「対人援助で大切にしたいこと」 上田将史講師
新人研修 2回 継続研修 1回 藤井忠幸講師
- ◆ **講演会** 2021年1月 動画配信(公開録画)による「ウイズコロナ時代のセルフケア」上田将史講師

初めての試みでユーチューブでの配信でしたが広い範囲から130名のアクセスがあり好評を頂きました。

◆ いのちの電話連盟合同研修会

2021年1月連盟主催の全国センター対象の研修会を千葉セミナー室を主会場としてハイブリッドセミナー形式で実施、全国の会員とリモート会議で繋がりました。

◆ ひだまり開催

年度	開催回数	会場別参加者数(人)						累計	参加内訳(人)	
		千葉	習志野	柏	君津	印旛	浦安		男	女
2006~2019	355	490	6	620	11	121	2	1,250	436	814
2020	13	12		26		4		42	13	29
計	368	502	6	646	11	125	2	1,292	449	843

◆ 茶話会

年度	茶話会回数	参加者	参加内訳(人)	
			男	女
2006~2019	31	174	34	140
2020	1	5	1	4
計	32	179	35	144

声&声

- ★コロナ禍のなか皆さんに会いたかった
- ★こんなにもお喋りが出来て嬉しい
- ★今の気持ちを大切にしよう

◆ 2020年度ひだまり・茶話会

会場	開催数	参加者	死別対象					
			子ども	配偶者	親	兄弟	恋人	その他
ひだまり千葉	5	12	3	2	3	2	0	2
柏	4	26	20	3	2	0	0	1
印旛	3	4	2	2	0	0	0	0
計	12	42	25	7	5	2	0	3
茶話会 柏	1	5	3	1	1	0	0	0
計	1	5	3	1	1	0	0	0
合計	13	47	28	8	6	2	0	3

※重複あり

(3) 対面相談事業

(2020年4月～2021年3月)

2009年に対面相談を開始して以来、この11年間の対面相談実施総件数は1,257件となった。

2020年度は、コロナ禍により相談実施日を週2日体制に縮小しながらの1年間ではあったが、対面相談実施件数は、177件と前年(164件)の8%増となった。

対面相談実施件数の男女別では、男性が58件(33%)、女性が119件(67%)で、女性が男性の2倍強である。また60代の女性の割合が圧倒的に多く、全体の36%を占めている。相談内容別では、「人生」、「家族」の順になっている。前者の多くは、先の見えない不安や多様性の問題などをきっかけに、人としてどうありたいか、どう生き抜くべきかというような人間の根源的なものに触れていくような相談も目立っていた。また後者は、自分自身が家族との向き合い方に悩み、相談される方も増加している。現在、コロナ禍の中での生活様式の変容により、相談者の多くがこれから先の生き方を問われているかのような状況である。

今年度は緊急事態宣言発出に伴い、通常に対面相談に加え「電話による個別相談」を開始した。来所することに不安を抱かれている方にも、相談を継続することで相談者の不安な気持ちに寄り添う事ができ、一定の成果を上げる事ができた。

◆ 対面相談実施件数

年 度	実施件数
2009年～2019年	1,080
2020年	177
計	1,257

◆ 対面相談実施件数 男女別

年 度	実施総数	男	女
2020年	177 (0)	58 (0)	119 (0)

() は当日受付相談件数
※電話個別相談件数8件含む

◆ 対面相談実施件数 年代別

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
男	0	5	3	5	17	13	15	0
女	0	0	0	9	31	64	15	0
計	0	5	3	14	48	77	30	0

◆ 対面相談実施件数 相談回数別

1回： 25	2回： 19	3回以上： 133
--------	--------	-----------

◆ 対面相談実施件数 相談内容別

項目	人生	職業	経済	家族	夫婦	対人	身体	精神	自死遺族
人数	82	1	0	48	0	30	1	2	13

◆ 対面相談実施件数 情報源別

情報源	地域新聞	HP	広報誌	3事業	公開講座	ポスター	その他
人数	37	41	29	46	0	0	24

◆ 自殺傾向

傾向	なし	念慮	危険	予告	自傷等
人数	171	6	0	0	0

◆ 自死遺族個別相談 (於：印旛合同庁舎)

相談件数： 3件	来談者数： 3名
----------	----------

(4) インターネット相談事業

(2020年4月～2021年3月)

インターネット相談事業はコロナ禍のため、休務又は参加回数を制限せざるを得ない相談員が複数あった。そのため活動回数は通常月6回のところ、5月～9月までは月4回、10月～3月までは月5回にした。また1回の担当者数も2名でもよしとし、更に受信数にも制限を加える等、柔軟に体制を維持しながら継続してきた。

受信総数は205件で月平均約17件（前年度の総数328件 月平均約27件）であった。千葉県在住の方が大半を占め、男女比は、女性が男性の2倍以上を占めているのは前年と同様である。年代別では、20代～50代が多くを占めているのは前年同様であるが、前年は0であった60代、70代が15件あった。相談内容別では、人生が最も多く、精神、家族、対人がそれに続く傾向はほぼ前年と同様である。

継続研修については年間10回計画していたが、コロナの影響で、実施できた研修は講師による研修が3回、自主研修1回だった。また、今年初めてグループSV（事例検討）も計画したが実施できなかった。

次年度はリモートによる継続研修の開催を講師からも提案されている。相談員皆が参加しやすい継続研修の実施に向けて準備していきたいと思っている。

〈インターネット相談統計（2020年4月～2021年3月）〉

地域別		性別		相談回数	
千葉県	142	男	57	1回	106
その他	29	女	127	2回	61
不明	34	不明	21	3回	38
計	205	計	205	計	205

■ 年代別相談件数

年代	9才以下	10才代	20才代	30才代	40才代	50才代	60才代	70才代	不明	計
人数	0	12	40	45	35	32	14	1	26	205

■ 相談内容別

内容分野	人生	人権	職業	経済	家族	夫婦	教育	対人	男女	身体	精神	情報	その他	計
相談数	53	2	18	8	38	6	2	24	1	2	45	2	4	205

■ 自殺傾向

なし	念慮	危険	予告	実行中	不明	計
115	64	4	2	0	20	205

Ⅱ 養成と研修

(1) ボランティア相談員の養成

- | | |
|-----------------------|----------------|
| ①32期ボランティア相談員養成基礎研修講座 | 2021年4月17日まで延期 |
| ②対面相談事業養成研修 | 中止 |
| ③インターネット相談事業養成研修 | 中止 |
| ④自死遺族支援事業養成研修 | 中止 |

(2) 相談員の研修

- ①電話相談員研修（1期生～31期生）
継続研修；9月～12月 18グループ
- ②電話相談研修ボランティア
フォローアップ研修 講師；末松渉氏 9月～11月（3回）
個人スーパービジョン 講師；西浦加代子氏 電話相談ボランティア 13人
- ③対面相談員研修、
継続研修；7月～12月年6回（7/12、8/9、9/13、10/11、11/8、12/13）
講師；勝山修一郎氏、日下忠文氏
個人スーパービジョン 10名 講師；勝山修一郎氏
研修担当者研修（スーパーバイザー研修）年5回 2名参加 講師；勝山修一郎氏
- ④自死遺族支援員研修
継続研修；7月～1月年5回（7/26、9/7、10/5、11/2、1/25）
講師；上田将史氏、藤井忠幸氏
- ⑤インターネット相談員
継続研修；7月～11月年4回（7/26、9/6、10/3、11/25）
講師；上田将史氏、日下忠文氏
- ⑥外部研修
・自死遺族支援合同研修（オンライン） 1月8日 講師 森美加氏

Ⅲ 公開講演会・公開講座

(1) 「ウイズコロナ時代のセルフケア」

～こころの健康を守るためにできること～

第25回自死遺族支援公開講演会動画公開（録画） 柏市共催

講師：上田将史氏

実施日：令和3年3月13日（土）～3月22日（月）

参加者：122名（申し込み件数）

IV

活動報告

1. 理事会・評議員会の開催

理事会 5月20日（書面）・10月21日・3月3日
評議員会 6月17日（書面）・11月18日・3月10日
主な議案 2019（令和1）年度事業報告・決算報告・役員選任・評議員の選任・
2021（令和3）年度事業計画・予算承認

2. 部会・委員会報告

(1) 研修委員会

(9/1、11/4、3/1)

- ・研修・委員会開催時の注意事項
- ・千葉いのちの電話のコロナウィルス対策について
- ・新型コロナウイルス感染予防チェックリスト
- ・32期生養成講座について
- ・9月以降の研修時間について
- ・33期生養成開始時期前倒し
- ・4事業合同研修担当者養成
- ・32期生養成研修について（4月開始）

(2) 研修専門家部会

(8/27、11/23、3/25)

- ・千葉いのちの電話として、感染症についての対策をどうするか
- ・フォローをどうするか
- ・32期生第Ⅲ課程カリキュラムについて
- ・電話相談研修担当者の継続研修について
- ・リモート対面相談についての意見集約
- ・講師について
- ・対面相談事業の講師
- ・4事業合同研修担当者養成について
- ・32期生研修について新型コロナウイルス感染予防等による欠席への対応
- ・33期生養成研修について

(3) 研修ボランティア部会

(7/19、8/23、9/27、10/25、11/22、12/20、1/9、2/14、3/21)

- ・32期生養成、33期生養成
- ・4事業合同研修担当者養成
- ・3事業合同研修担当者養成フォローアップ3回 講師；佐藤俊一氏

(4) 電話相談研修ボランティア

- ・継続研修 16グループ（1～30期）
- ・認定後1年継続31期
- ・研修担当者継続研修
- ・研修担当者スーパービジョン
- ・相談員のケア・資料・統計の作成

- (5) **運営協議会**
 - ・2021（令和3）年度事業計画・予算についての検討
 - ・理事会・評議委員会への提出議案の検討
 - ・風水害・新型コロナによる緊急事態の対応検討
- (6) **総務財務委員会**
 - ・10/1（木）永年表彰 賞状と記念品の贈呈
 - ・20年表彰（11期）2名 10年表彰（21期）4名
- (7) **財務・総務部会**
 - ①2021（令和3）年度事業計画・予算案策定
 - ②財務基盤健全化策の検討
- (8) **広報啓発部会**
 - ①広報誌「いのちの電話・ちば」第71号、第72号（夫々6/10、11/10）2,000部発行
- (9) **イベント事業部会**
 - ①講演会プロジェクト 「千葉いのちの電話」リーフレット作成、配布
（既存のポスター同封）2,000部 11月
リーフレット増刷 1,000部 3月
 - ②コンサートプロジェクト 新型コロナ感染防止のため、6月26日・11月7日のチャリティーコンサートは中止
- (10) **ボランティア増強部会**
 - ①電話ボランティア相談員募集カード（名刺サイズ）の作成と配布 11月
 - ②電話ボランティア相談員募集カード（A7サイズ）の作成 11月
・ポケットティッシュに入れて配布
 - ③電話ボランティア相談員募集DVDを作成し、「千葉いのちの電話」ホームページに掲載 12月
- (11) **電話相談事業部会**

1. 電話担当状況……詳細は別紙①資料

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から活動を縮小、状況を見ながら活動時間を変更した1年だった。全面クローズするよりは、活動を止めず出来る人で行うこととなった。

24時間365日は4月10日までで止まり、最も縮小した5月は、事務局勤務時間帯としたため月～金曜日までの9：00～17：00（1帯途中から3帯途中）までの月に18日間であった。6月は事務局が土曜、日曜出勤（8月まで）してくれたため、毎日連続して行うことが出来た。

8月はコロナも少し落ち着いてきたため、活動時間を7：30～18：30（1帯～3帯）とし、9月からは継続研修も再開されたので、9月20日からは4帯（～21：30）までに拡大。2021年1月10日までその体制で行われた。1月11日から3月末までは、また18：30（3帯）までとなった。

活動出来た相談員数は、通常の6割～7割だった。そんな中でも、10日24時間FDは5月以外は変わらず参加、6月20日から実施された毎日フリーダイヤル（コロナ禍）にも曜日を決めて参加できたことは、相談員の熱意に拠る。

2. 主な活動

- 1) 毎月の体制案決め、変更の通知、コロナ感染対策の準備等
 - ①役員会を毎月開催

②相談員への各連絡を部会グループ連絡網で通知した。事務局からのガイドライン要約や継続研修についてなど（ガイドラインは1月から事務局メーリングリストで通知可能となる）。

2) 担当調整

役員と担当調整サポートチームがほぼ週単位で「担当空き情報」を連絡網で流した。

3) 定例会議開催

構 成：部会役員（3名）と各継続研修グループからの代表メンバー（17名）

日 時：原則毎月第3土曜日10時～12時、コロナで年に2回の開催となった。

回	月/日	内 容
1	10/19	コロナ禍緊急FDの件、空地への駐車の問題
2	12/16	大晦日5帯実施案について、大掃除、災害用備蓄品チェック

4) 受信カード打込み及び受信カード等の印刷、廃棄

5) 電話相談ボランティアへの慰労

年末年始（12月29日～翌年1月3日迄）担当者への茶菓の用意

6) 局外活動（他団体との交流）……千葉市ボランティアセンター連絡協議会の活動に参加

7) 特記事項

①コロナ禍で活動できない相談員へ電話による状況ヒアリング（6月14日、15日）
役員と担当調整サポートチームで手分けして66名に電話で状況をお伺いした。

②フリー帯の実施（トライアル）

パソコン予約に拠らない任意での自由時間に電話相談を行う。1本でも相談電話を受けたいという相談員の案で実施された。個人の実績には反映されない。

③大晦日の24時間電話相談実施

④「ガイドブック」の全面回収を取り止め、2021年度差し替えを作成、印刷。

2020年度電話相談活動状況（4月～2021/3月）電話相談事業部会 資料①

月	月日・活動時間	10日FD	コロナ禍FD	実績人数*	件数	クローズ帯数
4月	4/1～4/10 7:30～翌7:30	15:00～翌8 時まで実施	6/20から連盟 実施 毎日16:00～ 21:00まで	103/169	853	5帯2回 10日FD1、2帯
	4/11～4/14 7:30～21:30					
	4/15～4/30 9:00～17:00					
5月	月～金 18日間 9:00～17:00	5/10日曜 実施なし		59/167	399	0

月	月日・活動時間	10日FD	コロナ禍FD	実績人数*	件数	クローズ帯数
6月	9:00~17:00	実施	1日実施	101/169	698	0
7月	7:30~18:30	実施	8日実施	102/168	782	1回
8月			9日実施	103/169	846	0
9月	9/1~9/19 7:30~18:30	実施	4日実施	120/156	904	0
	9/20~9/30 7:30~21:30					
10月	7:30~21:30	実施	4日実施	136/157	1,188	1回
11月	※11/13~フリー帯	実施	3日実施	138/158	1,154	1回
12月	※12/31 24時間	実施	4日実施	132/153	1,229	3回
1月	1/1~1/10 7:30~21:30	実施	3日実施	105/150	969	6回
	1/11~1/31 7:30~18:30					
2月	7:30~18:30	実施	3日実施	96/151	835	0
3月	7:30~18:30	実施	4日実施	105/155	900	0

*実績人数/実働担当人数

(12) 自死遺族支援事業部会

わかちあいの会・茶話会の開催
 フォローアップ研修
 公開講演会の開催
 連盟 合同研修会 担当
 三つ折りリーフレットの作成
 地域新聞掲載

(13) 対面相談事業部会

対面相談実施 自死遺族個人対面相談実施（印旛合同庁舎）
 養成研修・フォローアップ研修
 地域新聞掲載 広報活動用ポスター作成

(14) インターネット相談事業部会

インターネット相談実施
 養成研修・フォローアップ研修

(15) 事務局

事業計画の円滑な推進に協力・千葉市・関係機関との連携・諸会議出席
 連盟会議出席
 ホウレンソウ編集・作成

V 他機関との連携

1. 千葉県いのちの電話協会後援事業

① 千葉県いのちの電話協会30周年ふれあいチャリティコンサート

澤村祐司 & 永井由里 ジョイントコンサート

日時……2020年6月26日（金）

場所……千葉市文化センター 3Fアートホール

※コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりました。

② 千葉県いのちの電話協会30周年チャリティコンサート

山田大智 LAVOCE～歌とピアノで巡る世界の旅～

日時……2020年11月7日（土）

場所……千葉市民会館

※コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりました。

2. 一般社団法人日本いのちの電話連盟

(1) 第48回定時総会に出席（6/26書面）

(2) 首都圏事務局長会議に出席（10/9）

(3) 関東甲信越ブロック会議に参加（2021/ 3/12リモート）

(4) インターネット相談運営委員会・実施センター会議に参加（10/15、12/9、1/14、1/30何れもリモート）

(5) フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」及び「毎日フリーダイヤル」に参加

(6) いのちの電話ナビダイヤルに参加

(7) 自死遺族支援合同研修会に参加（1/8リモート）

3. 千葉県諸機関との連携

(1) 自殺対策支援連絡協議会のメンバーとして会議に出席

（千葉県・千葉市・浦安市・柏市・市川市・船橋市・松戸市・八千代市・白井市・横芝光町他）

(2) 千葉県精神保健福祉協議会にメンバーとして参加

（心のふれあいフェスティバル・心の健康フェア・退院促進セミナー）

(3) 千葉県安全安心まちづくり推進協議会に出席

(4) 千葉市ボランティア連絡協議会の関連行事に参加

2020（令和2）年度 決算報告

■貸借対照表（2021（令和3）年3月31日現在）

（単位：円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	27,883,726	流動負債	252,152
現金	22,951	事業未払金	242,000
普通預金	25,040,223	預り金	4,902
事業未収金	2,820,552	職員預り金	5,250
固定資産	153,212,104	負債の部合計	252,152
基本財産	112,140,117	純 資 産 の 部	
土地	59,500,000	基本金	145,812,651
建物	52,640,117	その他の積立金	38,217,578
その他の固定資産	41,071,987	修繕積立金	26,000,000
構築物	1	備品等購入積立金	4,500,000
器具及び備品	2,027,117	ボランティア養成積立預金	7,717,578
電話加入権	536,372	次期繰越活動増減差額	△ 3,186,551
ソフトウェア	290,919	（うち当期活動収支差額）	1,932,484
修繕積立預金	26,000,000		
備品等購入積立預金	4,500,000		
ボランティア養成積立預金	7,717,578	純資産の部合計	180,843,678
資産の部合計	181,095,830	負債及び純資産の部合計	181,095,830

■資金収支決算書（2020（令和2）年4月1日～2021（令和3）年3月31日）

（単位：円）

	科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動による収支	相談事業収入	10,738,000	10,881,152	△ 143,152
	経常経費寄附金収入	7,000,000	7,157,266	△ 157,266
	受取利息配当金収入	3,000	2,833	167
	その他の収入	200,000	182,000	18,000
	収 入 計	17,941,000	18,223,251	△ 282,251
	人件費支出	5,230,000	5,134,892	95,108
	事務費支出	8,092,405	6,970,596	1,121,809
	その他の支出	0	0	0
	支 出 計	13,322,405	12,105,488	1,216,917
	事業活動資金収支差額	4,618,595	6,117,763	△ 1,499,168
施設整備等による収支	施設整備等収入	0	0	0
	施設整備等支出	1,951,800	1,952,896	△ 1,096
	施設整備等資金収支差額	△ 1,951,800	△ 1,952,896	1,096
その他の活動による収支	その他の活動収入	0	0	0
	修繕積立預金・他支出	2,500,000	2,779,140	△ 279,140
	その他の活動資金収支差額	△ 2,500,000	△ 2,779,140	279,140
	予 備 費	166,795	-	166,795
	当期資金収支差額合計	0	1,385,727	△ 1,385,727
	前期末支払資金残高	26,245,847	26,245,847	0
	当期末支払資金残高	26,245,847	27,631,574	△ 1,385,727

監査報告書

令和 3 年 4 月 23 日

社会福祉法人千葉いのちの電話
理事長 友田 直人 様

監事 大森 薫

監事 松本 守次

私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度(2020年度)の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法およびその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等(事業報告及びその付属明細書)について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類(計算書類及びその付属明細書)及び財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純財産の増減の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。以上

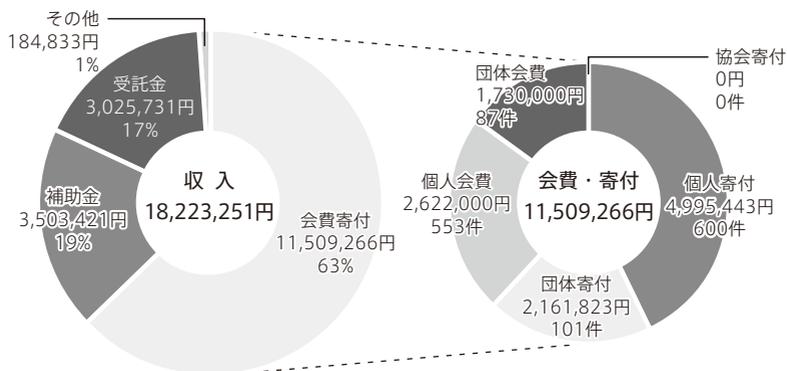
■2020(令和2)年度補助金等内訳

(単位:円)

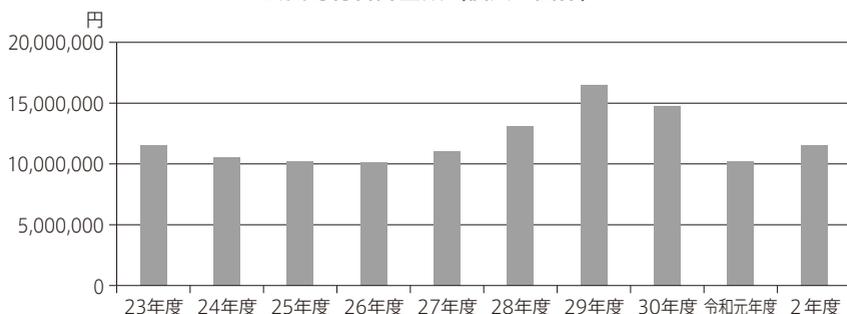
千葉県(電話相談員研修費)	618,821	自死遺族支援事業	
千葉県(地域自殺対策強化事業費)	376,000	千葉県受託事業	1,580,263
千葉市(電話相談員研修費)	269,528	柏市	245,468
千葉県共同募金会	1,690,000	千葉市	104,059
千葉県社会福祉協議会	10,000		
千葉市社会福祉協議会	20,000		

財務報告

2020年度収入の内訳



会費寄付合計金額 (個人と団体)



令和2年度の収入は18,223,251円。このうち、会費寄付が63%で昨年より9ポイント増えている。補助金及び受託金収入の合計は36%で、その他1%の収入は受講料や施設使用料などである。会費寄付収入については、27~30年度にかけて遺産寄付や篤志家の大口寄付により増加し、また昨年度はコロナ禍による社会的関心の高まりもあり前年比133万円増となったものの、依然として減少傾向にあり健全な財政基盤の強化が課題である。

■大口団体寄付 (5万円以上) ありがとうございました。

敬称略 (アイウエオ順)

カトリック市川教会、カトリック西千葉教会、金坂医院、京葉銀行社会活動推進室、京葉銀行小さな親切運動推進本部、(一社)生命保険協会千葉県協会、(株)双美、千葉エコライオンズクラブ、千葉県流通商防犯協力会、千葉興業銀行ともしびの会、千葉信用金庫、千葉大学医学部付属病院看護部、千葉西ロータリークラブ、千葉ロータリークラブ、東邦大佐倉病院看護部、中村古峡記念病院、日本キリスト教団西千葉教会、長谷川化学工業、(有)やまあき、連合千葉

2021（令和3）年度 事業計画基本方針

1. 基本理念の浸透

精神的危機に直面し苦悩している人に傾聴を基本姿勢として寄り添う相談活動を通して、裾野の広い自殺予防活動を行う。これらは、善良な市民の自らの意思による無償の行為である。

いのちの電話関係者はこの基本理念を共有し、浸透させること。

2. 千葉いのちの電話の一般県民への広い周知とボランティア確保

自殺予防活動を目的とし活動するこの働きを、広く県民の一人一人に広報すると共にボランティアへの参加促進をアピールする

3. 新組織の理解促進と定着

法・社会・利用者・相談員等の要請にこたえるため組織・各内規等の整備を進める。
内部での理解・改善・見直しを、対話を基に進める。

4. 施設整備の実施

建物・設備の点検と整備の計画化。
整備資金積立の実行。

5. 財政基盤の健全な強化

安定的な寄附金収入の確保と拡大のため、維持会員を更に獲得する方法の検討と実施。
新型コロナウイルス感染症による企業・団体・個人あらゆる層の経済に与える影響悪化に伴う寄付金等の確保のための新たな手法を構築する。
予期できない社会変動下においても、いのちの電話活動の存続のための、運営安定化積立金を確立する。

6. 将来像の検討

基本理念に基づき、社会の変化に対応した、将来の千葉いのちの電話のあり方を検討する。

2021（令和3）年度 事業目標

I 研修委員会

研修全般に関する方針策定、研修計画・予算案の承認
研修の課題への対応及び決定

- 研修専門家部会 研修に関する事項や課題について専門家の立場から協議・提言・提案を行う。相談員の判定・認定を行う。
- 研修ボランティア部会 研修の計画、予算の作成、決定された研修の実施。基礎研修養成講座計画・実施
4事業研修ボランティアに関するマネジメント

II 事業委員会

4事業に関わる適切な相談支援活動の維持・継続を図る。
すなわち円滑な相談支援の実施、記録の整理と保存、福利厚生・環境整備

- 電話相談事業部会 電話相談の調整、相談環境の改善
- インターネット相談事業部会 非会話の特性を生かした相談需要への対応
- 対面相談事業部会 地域への開かれた相談として周知を図る
- 自死遺族支援事業部会 わかちあいの会ひだまりの周知・維持・充実

III 総務財務委員会

相談支援活動の維持・継続を支える活動

自殺予防の啓発、相談員希望者の拡大、財務支援の増強等のため広く県民に千葉いのちの電話の存在を周知し理解と協力を仰ぐ。

- ボランティア増強部会 ボランティア希望者の拡大
- 広報啓発イベント部会 講演会の開催、協会のイベント支援
- 財務総務部会 事業計画・予算案作成を中心に、円滑な事業の遂行を図る。財務基盤の拡張を担う。

IV 事務局

事業計画・予算に則し各事業の円滑な推進を図る。

2021（令和3）年度 一般会計予算

2021年4月1日～2022年3月31日

科 目	予算額
【収入の部】	(単位：円)
会費収入	4,280,000
補助金事業収入	2,720,000
受託金収入	4,065,000
寄付金収入	4,800,000
雑収入	2,003,000
ボランティア養成 積立金繰入収入	600,000
施設整備収入	2,500,000
施設整備費積立 金繰り入れ収入	2,500,000
当期収入合計	23,468,000
*前年度繰越金	
収入合計	23,468,000
【支出の部】	(単位：円)
人件費支出	6,617,900
事務費支出	11,637,367
施設整備支出	5,000,000
予備費	212,733
当期支出合計	23,468,000
当期収支差額	0
*翌年度繰越金	
支出合計	23,468,000

千葉県いのちの電話協会

「千葉県いのちの電話協会」は社会福祉法人千葉県いのちの電話の後援会です。

千葉県いのちの電話の財政的支援を主として各種支援事業（活動ボランティアによる手づくり作品の販売・チャリティバザーなど）を行っており、年2回開催するコンサートは収益事業であると共に、幅広く地域の皆様に千葉県いのちの電話の活動にご理解とご支援をお願いする広報活動でもあります。1990年10月の結成から30年目を迎えることができ、これまでご支援を頂いた皆様には深く感謝申し上げます。

★昨年度は千葉県いのちの電話協会創立30周年の記念事業の一環として「永井由里氏、澤村祐司氏によるバイオリンと箏曲のジョイントコンサート」また「山田大智氏の歌唱とピアノによる世界のメロディー」のチャリティーコンサートを企画、ぎりぎりまで実施の体制で臨みましたが、コロナ禍中の感染予防の観点から何れも中止を余儀なくされました。

また、各所で予定しておりましたバザーもほとんど実施できず、大きく減収となる要因となりました。

★そこで後援会としての役割を少しでも果たすべく減収対策として「特別協会応援寄付」キャンペーンを実施、支援者・関係者・相談員に状況の説明と寄付のお願いをし、(社福)千葉県いのちの電話への入金分も含め2,323,058円のご協力をいただくことができました。皆様へは改めてこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

★イオン社会貢献事業「幸せの黄色いレシートキャンペーン」参加

2009年3月より、イオンマリンピア店にて参加しております。これは、参加している活動団体の中から支持する団体に黄色いレシート（毎月11日発行）を提供、金額の1%がその団体に（株）イオン様より支援金として贈呈される仕組みです。昨年度は店頭でのPR活動は中止となりましたが累計で643,900円のご支援を頂いております。ありがとうございました。

2021（令和3）年度コンサートのご案内

- ◆ 千葉県いのちの電話協会30周年記念ふれあいチャリティーコンサート
6月26日（土）千葉県文化センター アートホール
永井由里&澤村祐司ジョイントコンサート ～情熱と愛によせて 和と洋の調べ～
- ◆ 千葉県いのちの電話協会30周年記念コンサート
11月30日（火）千葉市民会館
山田大智 LAVOCE ～歌とピアノで巡る世界の旅～

■大口団体寄付（3万円以上）をありがとうございました。 敬称略

千葉銀行 千葉興業銀行 千葉信用金庫

小さな親切運動ちばぎん支部 (株)成田空港美整社 (株)米山鉄工所

社会福祉法人千葉いのちの電話 役員名簿 (敬称略) 2021 (令和3) 年7月1日

顧問

佐藤 甫夫	元千葉大学医学部 教授	山口 光治	淑徳大学 学長
長谷川 匡俊	学校法人大乘淑徳学園 理事長		

理事長

友田 直人	社会福祉法人千葉ベタニヤホーム 理事長
-------	---------------------

理事

北原 悦子	千葉いのちの電話ボランティア	松崎 泰子	日本社会事業大学 理事
佐藤 俊一	NPO法人スピリチュアルケア研究会ちば 理事長	三橋 和弘	社会福祉法人一粒会 監事 一般社団法人 日本いのちの電話連盟 監事
斎藤 浩一	千葉いのちの電話 事務局長	水鳥川 洋子	NPO法人子供センター帆希 理事
清水 新二	放送大学客員教授		
林 偉明	千葉県精神保健福祉センターセンター長		

監事

大森 薫	大森税理士事務所 所長	裕本 守次	NPO法人キッズパレット昭和小放課後児童クラブ館長
------	-------------	-------	---------------------------

評議員

青木 一芳	千葉YMCA 理事	鈴木 和成	鈴木測量株式会社 取締役社長
因幡 和久	医療法人グリーンエミネンス 中村古峽記念病院 看護師長	鈴木 國雄	千葉県年金受給者協会 会長
今井 一雄	今井法律事務所 弁護士	鈴木 光	一般社団法人千葉県労働者福祉協議会 会長
内山 弘子	公益社団法人 千葉県看護協会 常任理事	長谷川 昌江	元千葉いのちの電話ボランティア
小谷 裕	日本労働組合総連合会 千葉県連合会 会長	長谷川 正克	社会福祉法人 千葉県共同募金会 常務理事・事務局長
加藤 福子	元千葉いのちの電話ボランティア	花崎 みさを	社会福祉法人一粒会 理事長
川上 浩嗣	社会福祉法人千葉県社会福祉協議会 事務局長	溝井 伸二	一般社団法人 生命保険協会 千葉県協会 事務局長
神崎 一	公益社団法人千葉市保健医療事業団 常務理事兼事務局長	深山 博司	千葉市社会福祉協議会 常務理事
岸 憲秀	千葉YMCA 理事長	吉松 靖子	元千葉いのちの電話ボランティア
近藤 龍雄	NPO法人千葉県精神障害者・家族会連合会 副理事長		

千葉県いのちの電話協会(後援会) 役員名簿(敬称略) 2021(令和3)年7月1日

顧問

白井日出男	元衆議院議員	青柳俊一	千葉興業銀行 取締役会長
篠崎忠義	千葉銀行 取締役専務執行役員	宮澤英男	千葉信用金庫 理事長
綿貫弘一	京葉銀行 相談役	大澤克之助	千葉日報社 代表取締役社長

相談役

阿部紘一	千葉県議会議員	堀江はつ	元千葉県議会議員
小川善之	元千葉市議会議員	米持克彦	千葉市議会議員
佐久間隆義	元市原市 市長		

名誉会長

安田敬一	公益財団法人安田教育振興会 理事長
------	----------------------

歴代会長

川島教昭	株式会社稲毛自動車教習所 代表取締役会長
------	-------------------------

会長

橋本 妊壽奈	成田ユネスコ協会婦人部長
--------	--------------

副会長

鈴木和成	鈴木測量株式会社 取締役社長	吉成庸子	作家・エッセイスト
島田行信	学校法人市川学園 理事		

理事

天野和子	千葉いのちの電話活動ボランティア	友田直人	社会福祉法人千葉いのちの電話 理事長
新井隆太	アラックス株式会社 代表取締役社長		千葉ベタニヤホーム 理事長
遠藤宏之	株式会社シティハウス 代表取締役	豊田重俊	有限会社豊工業 取締役
岡部文彦	新千葉法律事務所 所長	廣川勝俊	東日本旅客鉄道株式会社 千葉支社総務部 サービス 品質改革室長
日下忠文	日下医院 院長		
齊藤朝江	元千葉いのちの電話 理事	山口悦子	千葉いのちの電話活動ボランティア
重宗光子	有限会社エダブン 代表取締役	米山芳昭	株式会社米山鉄工所 社長
	千葉いのちの電話相談ボランティア		

監事

大森 薫	大森税理士事務所 所長
------	-------------

研修専門家部会

上田将史	NPO法人 志木市精神保健 福祉をすすめる会 理事長	西浦加代子	元ルーテル学院大学付属 PCGカウンセラー
木村登紀子	聖路加国際大学 名誉教授	藤井忠幸	自死遺族ケア団体全国 ネット代表
佐藤俊一	桜クリニック 臨床心理士 淑徳大学 教授		

ご支援のお願い

●あなたのご支援を必要としています

千葉いのちの電話の活動は、多くの善意あるボランティアの無償の奉仕によって支えられています。24時間365日眠らぬダイヤルの維持や建物管理、研修生の訓練や相談員の継続研修、広報活動などのために、年間約1,900万円の経費が必要となっております。

現在、全国の自殺者は警察庁の発表によると2020年は21,081人、千葉県内では1,023人になっています。「死にたい!」と訴える相談者のこころは、「生きたい! 助けて!」です。その声に寄り添うために、一人でも多くの方に資金ボランティアとして千葉いのちの電話を支えてくださいようお願い申し上げます。

●ご寄付の税額控除について

千葉いのちの電話への寄附金については税額控除が受けられます。税額控除証明書を領収書と一緒に印刷しておりますので、確定申告の際にはどうぞご活用下さい。詳細は事務局までおたずねください。

●維持会員・寄付のお願い

- ◆個人会員 年額1口 2千円 (何口でも)
- ◆団体会員 年額1口 1万円 (何口でも)
上記の額を毎年継続して納入して頂ける個人や団体
- ◆寄付者会員 この社会福祉法人の主旨に賛同して頂き、寄付金を納入していただける方、金額は問いません。

《お振込は下記のいずれかをご利用ください》

- ・郵便振替 / 00110-0-366563
「社会福祉法人 千葉いのちの電話」
- ・銀行振込 / 千葉銀行県庁支店 004 (普) 2115973
京葉銀行本店 080 (普) 8897411
千葉興業銀行千葉支店 111 (普) 6182171
千葉信用金庫本店 001 (普) 0580786
口座名は「社会福祉法人 千葉いのちの電話 理事長 友田直人」

社会福祉法人 千葉いのちの電話 事業案内

発行日 2021年7月1日
発行者 理事長 友田直人
事務局 〒260-0012
千葉市中央区本町3-1-16 CIDビル
TEL 043-222-4416・4322
FAX 043-227-6911
<http://www.chiba-inochi.jp>
E-mail ll-chiba@chiba-inochi.jp

エルエル



